

1 教科に関する調査結果

(1) 和歌山県（公立）と全国（公立）の平均正答率

単位：%

	小国A	小国B	小算A	小算B	合計	小理	中国A	中国B	中数A	中数B	合計	中理
県	72	55	63	51	241	60	75	59	67	45	246	65
全国	71	55	64	52	242	60	76	61	66	47	250	66
差	1	0	-1	-1	-1	0	-1	-2	1	-2	-4	-1

※平成28年度からは、学力面において、細かい桁における微小な差異は、実質的な違いを示すものではないため、平均正答率については整数値で示している。合計については、理科を除いている。

(2) 順位

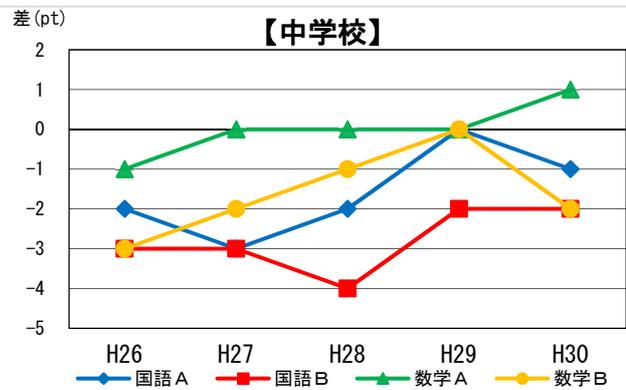
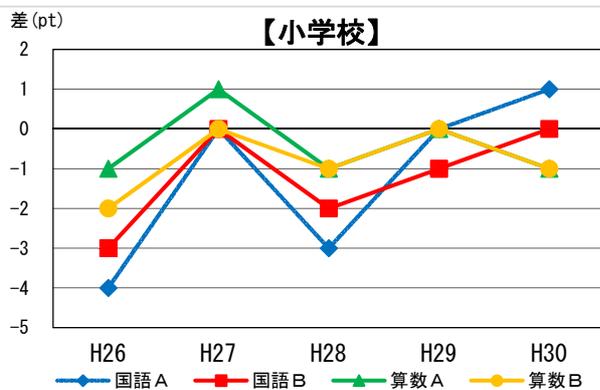
	小国A	小国B	小算A	小算B	合計	小理	中国A	中国B	中数A	中数B	合計	中理
H28	45位	40位	26位	30位	42位		41位	43位	19位	26位	37位	
H29	21位	21位	19位	12位	21位		27位	41位	17位	17位	28位	
H30	10位	19位	21位	18位	20位	24位	35位	39位	10位	34位	34位	34位

※平成30年度の合計は、理科を除いた4調査の順位で示している。

(3) 和歌山県（公立）平均正答率と全国（公立）平均正答率との差の推移

単位：pt(ポイント)

	小国A	小国B	小算A	小算B	小理	中国A	中国B	中数A	中数B	中理
H26	-4	-3	-1	-2		-2	-3	-1	-3	
H27	0	0	1	0	-2	-3	-3	0	-2	-3
H28	-3	-2	-1	-1		-2	-4	0	-1	
H29	0	-1	0	0		0	-2	0	0	
H30	1	0	-1	-1	0	-1	-2	1	-2	-1



(4) 調査結果の特徴

小学校は、国語A・B、算数A・Bの合計の結果が、過去最高（20位）となった。

中学校は、昨年度の結果をやや下回ったが、一昨年度からは改善してきており、特に数学A（10位）は全国平均を上回った。

○成果

- ・小学校国語のA問題が、調査開始以来、初めて全国平均を上回った（10位）。
- ・小・中学校の理科は、平成27年度の調査結果と比べて、全国平均との差が縮まった。
- ・無解答率は、中学校国語のB問題でわずかに全国平均より高くなったが、それ以外の教科で、全国平均より低くなった。

●課題

- ・小学校算数のA問題では、数量の関係を理解し数直線上に表す問題の正答率が、全国平均を下回った。
- ・中学校国語と数学のB問題では、読み解いたことを用いて、自分の考えを書く問題の正答率が、全国平均を下回った。

○成果

- ・「算数・数学の授業の内容はよく分かる」と回答した子供の割合が、さらに増加した。
【全国差 小学校+3.0pt、中学校+4.0pt】
【H29との差 小学校+3.2pt、中学校+2.2pt】→資料2 P6(1)②
- ・小学校では、「学校の授業の予習・復習をする」と回答した子供の割合が、全国を上回った。
【全国差 小学校+2.9pt】→資料2 P8(3)②
- ・「いじめは、どんな理由があってもいけない」と回答した子供の割合が、さらに増加した。
【全国差 小学校+0.8pt、中学校+0.5pt】
【H29との差 小学校+0.8pt、中学校+2.3pt】→資料2 P8(4)④
- ・「授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があった」と回答した子供の割合が、全国を上回った。
【全国差 小学校+3.2pt、中学校+1.0pt】→資料2 P9(5)①

●課題

- ・理科の観察・実験に対して、肯定的に回答した子供の割合が低い。
【「予想をもとに計画を立てる」：全国差 小学校-1.9pt、中学校-8.1pt】→資料2 P6(1)⑤
【「進め方・考え方を振り返る」：全国差 小学校-2.0pt、中学校-7.1pt】→資料2 P7(1)⑦
- ・自ら学習に取り組むことや工夫して発表することに対して、肯定的に回答した子供の割合が低い。
【「自ら学習に取り組む」：全国差 小学校-1.4pt、中学校-3.6pt】→資料2 P7(2)①
【「工夫して発表する」：全国差 小学校-2.6pt、中学校-6.3pt】→資料2 P7(2)②
- ・学校の授業時間以外に全く読書をしていない子供の割合が、全国より高い。
【全国差 小学校+0.9pt、中学校+7.9pt】→資料2 P8(3)③

3 これまでの主な取組

- 県教育委員会、市町村教育委員会、学校が一体となって、下記の学力向上対策に取り組んだ。
 - ・全ての小・中学校で、学力向上プログラムに基づいた組織的な検証改善サイクルを実行
 - ・市町村教育委員会とともに、課題の大きい学校を重点的に訪問し、各学校の課題改善に向けた取組を指導・支援
 - ・「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」を徹底し、子供が見通しを持って意欲的に取り組める授業を実践
 - ・授業事例集（国・理）を活用して、思考力・判断力・表現力を高める授業を実践
 - ・マスター問題集（国・理）、評価問題、評価テストを活用して、課題改善に向けた取組を徹底

4 今後の主な取組

- 学力向上推進に係る研修会
 - ・開催：紀北・紀南の部 内容：国語、算数・数学 対象：小5・中2〈国・数〉担当教員
 - ・開催：地方別6会場 内容：理科 対象：小・中学校理科担当教員
 - ・開催：紀北・紀南の部 内容：英語 対象：中学校英語担当教員
- 課題別学校指導訪問（対象：学力や学習状況等に課題のある学校）
- 和歌山県学習到達度調査（対象：小4・5と中1・2 教科：国、算・数、理〈小5と中2〉）
- 評価問題（対象：小5・6と中1・2 教科：国、算・数、理、英〈中2〉）、評価テスト（対象：小5と中2 教科：国、算・数、理、英〈中2〉）、長期休業中の家庭学習用教材（国、算・数、英）の配信
- 地方別小中学校長研修会、地方別小中学校教頭研修会